

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	鳴門産品販路開拓支援事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系			根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="28"/> 年度
政策(中項目)	1	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化			
基本事業	1	地場産業の育成と振興			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市内の事業者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	商談会等へ参加し、販路開拓の支援を行い、市内事業者の経営力向上を目指す。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	商談会等へ市内事業者が参加できるように、出展に係る費用を市が負担するなど、市内事業者の販路開拓を支援する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		事業活用事業者数	4	5	5	5	5	社

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	地方銀行と協力し、本市地場産品の販路開拓を支援するため、地域商品に特化した専門商談会「地方銀行フードセレクション」や「『食の魅力』発見商談会」にて、出展ブースを買い取り、本市事業者が出展しやすい環境を整え、販路開拓の支援を行った。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 「地方銀行フードセレクション」出展事業者数	4	3	3	3	3	社
	2 「『食の魅力』発見商談会」出展事業者数	0	2	2	2	2	社
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	事業活用事業者数	4	5	—	—	—	社
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	0	648	648
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	648	648
		決算額	0	0	0	0	648	648
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.1	0.0	723	1,371			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：鳴門産品販路開拓支援事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	6,091	648	648	648	648
	うち一般財源	0	648	648	648	648
	人件費	713	723	723	723	723
	総事業費	6,804	1,371	1,371	1,371	1,371

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		外向きのPR及び販路開拓支援の手法としては概ね有効であった。
	効率性	B:概ね効率的だった		事務の効率化という点で、さらに向上する余地があるとする。
②成果に対する評価	指標名	事業活用事業者数		事業活用事業者が5社であり、目標を達成することができた。
	目標	5	社	
	実績	5	社	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		<b>B</b>		出展事業者が狙いのパイヤーとつながりができるなど、一定の成果が見えたため、B評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	商談会を通じた販路開拓支援を継続実施する。商談会への参加を通じて、より販路拡大につながる可能性のある事業者を優先して掘り起こしてもらえよう銀行と連携して実施する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>3</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	商談会を通じた販路開拓支援を実施する。引き続き、第一地銀の「フードセレクション」に加えて、第二地銀の「食の魅力発見商談会」への出展支援を行い、市内事業者の販路拡大に繋げる。			
	H31年度	30年度の実施状況を見ながら、31年度の内容を検討する。			